

令和 3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	614 つくば市環境審議会運営事業					
予算科目	01-040107-11 環境政策に要する経費			担当部課	生活環境部環境政策課	
市長公約				係名	計画管理係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画	特になし			事業期間	毎年度	
根拠法令等	環境基本法 つくば市環境基本条例			SDGs	07エネルギーをみんなにそしてクリー	
					13気候変動に具体的な対策を	
					15陸の豊かさを守ろう	

事業の概要

対象	市民
目的	環境保全に関する条例や計画の策定、改廃の際に内容や原案について調査審議するため。
概要 (取組内容)	つくば市環境審議会開催日程の調整、会議資料の作成を行う。

コストの推移

項目			令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	
事業費	予算額	(千円)	0	300	300	300	300	
	決算額	(千円)	530	0	82	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	530	0	82	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	2,058	1,360	706	706	706	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.30	0.20	0.10	0.10	0.10
		正職員時間外勤務	(時間)	9.25	0.00	8.75	8.75	8.75
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	会議公開
企画・立案、計画	特になし
実行	市民委員
評価、検証	パズリックコメント手続き

指標の推移

1	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	特になし	
成果	第3次つくば市環境基本計画の進捗管理を目的として、オンラインでつくば市環境審議会を開催し、委員意見を事業主管課にフィードバックした。	
課題	業務	特になし
	組織、予算等	特になし
改善目標	特になし	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続	
理由	-	

令和 3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	615 つくば市環境白書作成事業					
予算科目	01-040107-11 環境政策に要する経費			担当部課	生活環境部環境政策課	
市長公約				係名	計画管理係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	一部委託	
個別計画	第3次つくば市環境基本計画			事業期間	毎年度	
根拠法令等	つくば市環境基本条例			SDGs		

事業の概要

対象	市民
目的	つくば市の環境の状況、環境保全に関する施策の実施状況を広く市民や事業者に公表するため。
概要 (取組内容)	前年度のつくば市の環境に関するデータやつくば市環境基本計画にある関連施策の進捗状況について、関係各課から取りまとめて作成し、ホームページにて公表する。

コストの推移

項目			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
事業費	予算額	(千円)	0	220	308	0	0	
	決算額	(千円)	195	99	264	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	195	99	264	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	1,383	1,363	706	706	706	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.20	0.20	0.10	0.10	0.10
		正職員時間外勤務	(時間)	10.50	1.00	8.75	8.75	8.75
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	ホームページでの情報発信
企画・立案、計画	特になし
実行	特になし
評価、検証	特になし

指標の推移

1	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	環境白書作成業務委託において、次年度以降に自前で作成可能となるフォーマットを作成し、フォーマットは環境基本計画の進捗を容易に転記できるようにした。	
成果	第3次つくば市環境基本計画の実績や市内の現況をもとに令和2年度版環境白書を作成した。 なお、事業所管課が直接編集可能かつ環境基本計画の実績が転記可能となるフォーマットを作成し、次年度以降の作業簡略化を図った。	
課題	業務	次年度に自前で作成した結果で課題を抽出する。
	組織、予算等	特になし
改善目標	特になし	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	616 環境基本計画進行管理事業					
予算科目	01-040107-11 環境政策に要する経費			担当部課	生活環境部環境政策課	
市長公約				係名	計画管理係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画	第3次つくば市環境基本計画			事業期間	毎年度	
根拠法令等	つくば市環境基本条例			SDGs	07エネルギーをみんなにそしてクリー	
					13気候変動に具体的な対策を	
					15陸の豊かさを守ろう	

事業の概要

対象	市民、市職員					
目的	目指すべき将来像「豊かなつくばの恵みを未来につなぐ持続可能都市」の実現に向けて、環境施策の実効性を確保するため。					
概要 (取組内容)	第3次環境基本計画に掲げる関連施策に該当する事業の目的・目標について、関係各課に事業進捗管理調査票の提出を依頼し維持管理を行う。					

コストの推移

項目			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
事業費	予算額	(千円)	0	46	21	23	23	
	決算額	(千円)	6,996	112	6	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	6,996	112	6	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	5,619	2,112	1,410	1,410	1,410	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.80	0.30	0.20	0.20	0.20
		正職員時間外勤務	(時間)	78.00	29.00	17.50	17.50	17.50
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	環境白書による事業成果の公表
企画・立案、計画	環境審議会での審議、アンケート、ワークショップ
実行	ホームページでの情報公開
評価、検証	環境白書による事業成果の公表

指標の推移

1	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	特になし	
成果	年度当初に進行管理の目的や環境基本計画に実績を転記することを考慮した上で環境基本計画の進行管理表を作成した。また、6月に環境基本計画掲載事業の主管課に対して、令和3年度事業計画の作成を依頼し、環境管理委員会で事業計画の確認を行った。また、事業の進捗管理を目的として10月に環境審議会を開催し、11月の環境管理委員会で、審議会で頂戴した意見のフィードバックを起こった。	
課題	業務	環境基本計画掲載事業の中には、施設の継続的な運用など、進捗管理票の作成になじまない事業が含まれており、それらの事業は行政評価等で進捗管理を行っており、経年で大きな変化がないことから、進捗管理表の作成について再考する。
	組織、予算等	特になし
改善目標	令和3年度の進捗管理票を参考に、令和4年度の進捗管理対象事業について見直しを行う。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続	
理由	-	

令和 3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	617 つくば市役所環境負荷低減事業					
予算科目	01-040107-11 環境政策に要する経費			担当部課	生活環境部環境政策課	
市長公約				係名	計画管理係	
戦略プラン				新規・継続	新規	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	一部委託	
個別計画	第3次つくば市役所地球温暖化対策実行計画（事務事業編）			事業期間	期間限定複数年度	
根拠法令等	特になし			SDGs	13気候変動に具体的な対策を	
					14海の豊かさを守ろう	
					15陸の豊かさを守ろう	

事業の概要

対象	市職員
目的	つくば市役所が行う事務事業からの環境影響を継続的に少なくするため。
概要 (取組内容)	課長級、出先機関の長級、新規採用職員を対象として環境法令、地球温暖化対策に関する研修を行う。また、グリーン購入を推進することで間接的な環境影響を小さくする。

コストの推移

項目			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
事業費	予算額	(千円)	0	777	814	902	0	
	決算額	(千円)	0	675	628	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	675	628	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	0	3,403	706	706	0	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.00	0.50	0.10	0.10	0.00
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	1.00	8.75	8.75	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	ホームページでの情報発信
企画・立案、計画	特になし
実行	環境白書での事業成果の公表
評価、検証	特になし

指標の推移

1	指標名	環境法令の逸脱 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	つくば市役所でIS014001で管理の対象となっていた環境法令について、逸脱がないようにする。						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	昨年度まで対面形式で実施したが、オンライン研修を原則とすることで研修費用を削減した。	
成果	コロナウイルスの影響を考慮して、7月に動画配信形式で各課の長及び出先機関の長を対象として、環境法令遵守と地球温暖化対策に関する研修を実施した。また、10月に新規採用職員向けの環境法令遵守及び地球温暖化対策に関する研修を実施した。	
課題	業務	特になし
	組織、予算等	特になし
改善目標	特になし	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	618 クリーンエネルギー機器等購入補助事業					
予算科目	01-040107-23 低炭素な街づくりの推進に要する経費			担当部課	生活環境部環境政策課	
市長公約				係名	推進係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画	つくば市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）			事業期間	毎年度	
根拠法令等	つくばクリーンエネルギー機器設置事業補助金及びクリーンエネルギー自動車購入補助金交付要綱			SDGs	07エネルギーをみんなにそしてクリー	
					09産業と技術革新の基盤をつくろう	
					11住み続けられるまちづくりを	
					13気候変動に具体的な対策を	

事業の概要

対象	市民					
目的	機器設置費用の一部を補助することで、クリーンエネルギー機器を普及させ、家庭部門におけるCO2排出削減を図り地球温暖化防止に寄与する。					
概要 (取組内容)	クリーンエネルギー機器設置及びクリーンエネルギー自動車等の購入者を対象に、補助金を交付する。 ・蓄電池：50,000円/件、燃料電池：50,000円/件、電気自動車(EV)：20,000円/件、燃料電池自動車(FCV)：200,000円/件、ビークルトゥホーム(FCV)：50,000円/件					

コストの推移

項目			令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	
事業費	予算額	(千円)	0	15,700	12,000	12,000	0	
	決算額	(千円)	10,940	12,080	10,190	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	0	0	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	5,000	3,100	0	0
	その他	(千円)	10,940	7,080	7,090	0	0	
人件費	人件費計	(千円)	4,811	4,916	5,226	3,759	0	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.70	0.70	0.75	0.55	0.00
		正職員時間外勤務	(時間)	25.00	63.50	41.50	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	有	有	有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	ホームページ、広報紙での情報発信
企画・立案、計画	特になし
実行	特になし
評価、検証	特になし

指標の推移

1	指標名	クリーンエネルギー機器補助件数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	220.0	150.0	200.0	200.0	200.0	200.0
	実績	229.0	230.0	188.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	クリーンエネルギー機器(蓄電池、燃料電池)の補助件数					

2	指標名	クリーンエネルギー自動車補助件数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	45.0	21.0	43.0	43.0	43.0	43.0
	実績	17.0	15.0	23.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	クリーンエネルギー自動車(電気自動車、燃料電池車、ビークルトゥホーム)の補助件数					
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	茨城県の補助制度を活用したほか、実状に合う補助メニューとなるように見直しを実施し、V2H（ビークルトゥホーム）を設置する場合も補助対象とした。	
成果	クリーンエネルギー機器設置及びクリーンエネルギー自動車購入者に対し、補助金を交付したことで普及促進に貢献することができた。 補助実績 蓄電池：152件、燃料電池36件、電気自動車等：18件、ビークルトゥホーム：5件	
課題	業務	申請件数等から、ニーズに合わせた補助メニューとなるよう要綱等を確認し、必要に応じて見直しする。
	組織、予算等	財源確保のため、国、県等の補助制度を活用する。
改善目標	申請件数等から、ニーズに合わせた補助メニューとなるよう要綱等を確認し、必要に応じて見直しする。	

評価

市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	4	市民生活への影響等を鑑みて、優先的に取り組むことが必要と判断される。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	619 新エネルギー等普及促進事務					
予算科目	01-040107-23 低炭素な街づくりの推進に要する経費			担当部課	生活環境部環境政策課	
市長公約				係名	推進係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画	つくば市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）			事業期間	毎年度	
根拠法令等	特になし			SDGs	07エネルギーをみんなにそしてクリー	
					12つくる責任つかう責任	
					13気候変動に具体的な対策を	

事業の概要

対象	市民、事業者、つくば環境スタイルサポーターズ会員					
目的	市民の環境配慮活動の意識啓発を推進し、学んだ内容を市民や事業者が実生活や事業活動で実践することにより、地域の温室効果ガス排出の抑制を図る。					
概要 (取組内容)	地球温暖化対策のためには、温室効果ガスの排出が少なく、環境への負担が少ない新エネルギーの導入が必要不可欠であるため、茨城県内の次世代エネルギーパーク見学会を開催することにより、企業等の最先端のエネルギーの取組を市民に体験していただき、環境意識の啓発を図る。 ・次世代エネルギーパーク見学会の開催（8月）					

コストの推移

項目			令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	
事業費	予算額	(千円)	0	313	286	169	0	
	決算額	(千円)	2,299	50	125	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	2,299	50	125	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	2,065	2,040	3,082	0	0	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.30	0.30	0.45	0.00	0.00
		正職員時間外勤務	(時間)	12.00	0.00	2.75	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	ホームページ、メールマガジンでの情報発信
企画・立案、計画	特になし
実行	アンケートの実施
評価、検証	特になし

指標の推移

指標名	参加者数 (人)						活動結果指標
	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度	
1	目標値	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0
	実績	40.0	0.0	10.0	0.0	0.0	40.0
指標の概要	次世代エネルギーパーク見学会の参加者数						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	見学会実施個所について新規開拓し、親子を対象とした見学会を実施した。	
成果	当初、8月に実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言等の影響により事業実施を延期し、12月に募集人数を減らして実施した。	
課題	業務	見学会実施箇所について、次世代エネルギーパークのほか環境意識向上に向けた体験ができる事業所等の開拓に努める。
	組織、予算等	特になし
改善目標	見学会実施箇所について、次世代エネルギーパークのほか環境意識向上に向けた体験ができる事業所等の開拓に努める。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	3	やや遅れたが、今年度の事業計画は達成された。
市の関与	2	国、県、民間等で事業を担うことが可能である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続	
理由	-	

令和 3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	620 つくば環境スタイルサポーターズ事業						
予算科目	01-040107-23 低炭素な街づくりの推進に要する経費			担当部課	生活環境部環境政策課		
市長公約				係名	推進係		
戦略プラン	IV-4	1	1	食品ロス削減に向けた意識啓発	新規・継続	継続	
	IV-4	4	1	持続可能な開発のための教育の推進	事業分類	自治事務（任意）	
個別計画	特になし			事業体制	職員のみ		
根拠法令等	特になし			SDGs	事業期間		毎年度
					07エネルギーをみんなにそしてクリー		
					12つくる責任つかう責任		
				13気候変動に具体的な対策を			

事業の概要

対象	市民
目的	環境に関するイベント等の啓発活動を行うことにより、つくば環境サポーターズ会員を中心とした市民の環境意識の向上を図る。
概要 (取組内容)	つくば環境スタイルサポーターズ会員を中心に、ニュースレターやSNS等で市の環境関連情報の提供や環境に関するイベントを実施する。（提供する事業：筑波山自然環境教育事業、グリーンカーテンキャンペーン、小野川・桜川探検隊、エコクッキングなど。）

コストの推移

項目			令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	
事業費	予算額	(千円)	0	2,897	1,309	1,309	1,309	
	決算額	(千円)	2,265	1,172	682	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	2,265	1,172	682	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	5,037	4,783	4,826	4,784	4,784	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.70	0.70	0.70	0.70	0.70
		正職員時間外勤務	(時間)	117.00	9.25	17.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	ホームページ、メールマガジンでの情報発信
企画・立案、計画	特になし
実行	特になし
評価、検証	特になし

指標の推移

1	指標名	サポーターズ会員数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	9,500.0	10,000.0	10,200.0	10,300.0	10,400.0	10,500.0
	実績	9,553.0	9,650.0	9,917.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	(個別施策IV-4-①食品ロス削減に向けた意識啓発) (個別施策IV-4-④低炭素化の推進) 個人会員数						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	環境に関連する施策について主にサポーターズニュースを用いて、自ら行動することにつながる情報を発信した。	
成果	サポーターズニュースの発行（4月、6月、7月、10月、11月、12月、3月） グリーンカーテンコンテストの実施（10月） サポーターズ会員数（10,232名）※事業所会員含む	
課題	業務	イベントが開催できない場合の啓発方法やサポーターが自ら行動することにつながる情報発信が必要。
	組織、予算等	特になし
改善目標	イベントが開催できない場合の啓発方法やサポーターが自ら行動することにつながる情報発信を検討する。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	621 EV等普及促進事業					
予算科目	01-040107-23 低炭素な街づくりの推進に要する経費			担当部課	生活環境部環境政策課	
市長公約				係名	推進係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画	つくば市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）			事業期間	毎年度	
根拠法令等	特になし			SDGs	07エネルギーをみんなにそしてクリー	
					12つくる責任つかう責任	
					13気候変動に具体的な対策を	

事業の概要

対象	市民					
目的	EV等の低炭素車への転換を促し、自動車の走行に伴う温室効果ガス排出を抑制する。					
概要 (取組内容)	市域におけるEVの利便性の向上を図るため、市内3箇所（つくば市役所、筑波交流センター、荃崎交流センター）に設置した急速充電器の適切な管理を行う。 ・定期的な巡回点検 ・不具合発生時の対応（周知、修繕）					

コストの推移

項目			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
事業費	予算額	(千円)	0	3,791	3,737	4,077	0	
	決算額	(千円)	3,180	2,906	2,953	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	3,180	2,906	2,953	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	2,049	2,040	2,050	2,050	0	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.30	0.30	0.30	0.30	0.00
		正職員時間外勤務	(時間)	5.50	0.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	ホームページでの情報発信
企画・立案、計画	特になし
実行	特になし
評価、検証	特になし

指標の推移

1	指標名	急速充電器利用件数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	6,000.0	6,200.0	6,200.0	6,200.0	6,200.0	6,200.0
	実績	6,347.0	6,267.0	5,693.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	市内3箇所（つくば市役所、筑波交流センター、荃崎交流センター）における急速充電器の利用回数						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	充電器設置準加盟店契約及び急速充電サービスの運用委託の契約延長手続きをする。補助メニューとしてビークルトゥホーム (V2H) を追加し、更なるEV等の普及を図った。	
成果	市内3箇所(つくば市役所、筑波交流センター、荖崎交流センター)の急速充電器の継続的な維持管理を実施した。令和3年度の急速充電器利用件数は、5,693件であった。	
課題	業務	充電器設置準加盟店契約及び急速充電サービスの運用委託が令和4年度までなので、契約延長の手続きをする。
	組織、予算等	市民へのEV化推進を図るため、クリーンエネルギー自動車購入補助金の財源を確保する。
改善目標	充電器設置準加盟店契約及び急速充電サービスの運用委託が令和4年度までなので、契約延長の手続きをする。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	2	国、県、民間等で事業を担うことが可能である。
優先度	2	事務事業の統合、縮小を検討する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	622 コミュニティ型低炭素モデル街区整備事業					
予算科目	01-040107-23 低炭素な街づくりの推進に要する経費			担当部課	生活環境部環境政策課	
市長公約	79			係名	推進係	
戦略プラン	IV-4	4	2	低炭素なまちづくり（建物・街区）の推進	新規・継続	継続
					事業分類	自治事務（任意）
					事業体制	職員のみ
個別計画	つくば市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）				事業期間	毎年度
根拠法令等	つくば市低炭素ガイドラインに基づく認定補助金交付要項				SDGs	07エネルギーをみんなにそしてクリー
						12つくる責任つかう責任
						13気候変動に具体的な対策を

事業の概要

対象	市民
目的	市域の低炭素化を図るとともに、低炭素社会づくりを先導する。
概要 (取組内容)	環境配慮型住宅の整備やHEMSを通じたエネルギーの可視化などを行う低炭素モデル街区を形成し、成果を発信することで、低炭素まちづくりの面的な普及促進を図る。 つくば市低炭素（建物・街区）ガイドラインに基づく認定事業を行い、補助要項に沿って補助金を交付する。 ・ガイドライン認定補助金（レベル2：10万円/件、レベル3：20万円/件）

コストの推移

項目			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
事業費	予算額	(千円)	0	28,044	23,044	23,044	23,044	
	決算額	(千円)	15,744	24,700	21,800	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	0	0	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	15,744	24,700	21,800	0	0
人件費	人件費計	(千円)	4,868	4,760	5,139	3,759	4,784	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.70	0.70	0.75	0.55	0.70
		正職員時間外勤務	(時間)	48.00	0.00	5.50	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	有	有	有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	ホームページ、広報紙での情報発信
企画・立案、計画	特になし
実行	特になし
評価、検証	特になし

指標の推移

指標名	低炭素モデル街区の街区数 (街区)					活動結果指標
	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
1	目標値	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	(個別施策IV-4-④低炭素化の推進) 環境配慮型住宅の整備やHEMSを通じたエネルギーの可視化等を行う街区。同一事業として行う複数区画のまとまりを1街区として当該目標年度に建築が開始された街区の数					

2	指標名	つくば市低炭素ガイドラインの認定住宅数 (戸)					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	55.0	55.0	55.0	55.0	55.0
	実績	67.0	83.0	111.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	つくば市低炭素ガイドラインに基づく低炭素住宅認定戸数					
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	財源の確保について、電力の環境配慮契約に伴う削減実績額の一部を基金に積立した。また、補助メニューの見直しを実施した。	
成果	低炭素ガイドラインに基づく補助金交付件数 ・戸建レベル2：4件 ・戸建レベル3：107件	
課題	業務	実状に合わせた補助制度となるよう要項等の見直しをする。
	組織、予算等	財源の確保に努める。
改善目標	財源を確保するとともに、実状に合わせた補助制度（金額、件数等）となるよう見直しをする。	

評価

市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
進捗状況	5	年度当初の計画を上回る進捗で事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取組む必要性が高い。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	623 地球温暖化対策実行計画（事務事業編）推進事業					
予算科目	01-040107-13 地球温暖化対策に要する経費			担当部課	生活環境部環境政策課	
市長公約	79			係名	計画管理係	
戦略プラン	IV-4	4	3	公共施設の低炭素化	新規・継続	継続
					事業分類	自治事務（任意）
					事業体制	一部委託
個別計画	つくば市役所地球温暖化対策実行計画（事務事業編）				事業期間	毎年度
根拠法令等	地球温暖化対策の推進に関する法律				SDGs	07エネルギーをみんなにそしてクリー
						12つくる責任つかう責任
						13気候変動に具体的な対策を

事業の概要

対象	公共施設
目的	つくば市役所の全ての事務事業活動によって排出される温室効果ガスの排出量を削減する。
概要 (取組内容)	職員研修の実施、「環境配慮手順書」に基づき温室効果ガス排出削減の取組を行い「プログラム確認表」で半期ごとに進捗管理を行う。 公共施設の省エネ化を図るために設備改修を行う。

コストの推移

項目			令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	
事業費	予算額	(千円)	0	117,417	3,880	41,289	55,471	
	決算額	(千円)	36,186	114,699	2,932	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	36,186	9,586	1,221	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	101,112	0	0	0
		その他	(千円)	0	4,001	1,711	0	0
人件費	人件費計	(千円)	7,125	7,495	8,457	14,397	14,397	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.90	1.00	1.20	2.00	2.00
		正職員時間外勤務	(時間)	414.40	283.00	105.00	300.00	300.00
		会計年度任用職員有無	(-)	有	有	有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	ホームページでの情報発信
企画・立案、計画	特になし
実行	特になし
評価、検証	特になし

指標の推移

1	指標名	省エネ診断受診件数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
	実績	1.0	4.0	3.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	(個別施策IV-4-④低炭素化の推進) 省エネ改修に向けて、専門家による省エネ又は節電診断を受ける。						

2	指標名	つくば市CO2削減量 (t-CO2)					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	50.0	20.0	50.0	50.0	50.0
	実績	0.0	88.0	32.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	公共施設を省エネ設備に更新し、低炭素化を図る。					
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	エネルギー消費量や築年数などから今後省エネ改修において効果が期待できる公共施設を対象に低炭素化調査を実施し、改修対象となる設備の現状及び課題、改修方法や効果、改修にかかる費用の推計を行い、簡易的な設計を実施した。	
成果	令和元年度から2年度に実施した大穂庁舎等の省エネ改修事業について、随時測定と運用改善を行い、空調改修では事業提案と比較して約150%の削減効果を生むことができました。また、今後の公共施設の省エネ改修を図るため、メモリアルホールなど3施設の低炭素化調査を行い、対象設備の抽出、効果の推計等を実施した。なお、令和3年度の公共施設から排出される温室効果ガス推計量は48,763t-CO2であった。	
課題	業務	老朽化等で設備更新する際に、省エネの観点や補助金活用等を検討しなければならないが、環境政策課で実施するためには、人員(専門性)が不足している。
	組織、予算等	省エネ改修に専門的な知見を持つ職員や電気事業法、建築基準法などに知見を有する職員がいないため、職員による検討や判断が困難である。施設を運用しながらの改修には、工期や施工場所の課題が多く、補助金の活用に当たっては工期が重要となることから、実施に繋げることが困難である。
改善目標	公共工事には予算も知見も人的資源も必要となることから、これらを一時的に必要としない民間のノウハウや資源を活用した事業を検討する。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	625 地球温暖化対策実行計画（区域施策編）推進事業					
予算科目	01-040107-13 地球温暖化対策に要する経費			担当部課	生活環境部環境政策課	
市長公約				係名	計画管理係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（義務）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画	つくば市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）			事業期間	毎年度	
根拠法令等	地球温暖化対策の推進に関する法律			SDGs	07エネルギーをみんなにそしてクリー	
					12つくる責任つかう責任	
					13気候変動に具体的な対策を	

事業の概要

対象	市民、事業所					
目的	市域における地球温暖化対策を推進し、温室効果ガス排出量を削減するため。					
概要 (取組内容)	つくば3Eフォーラムや企業、大学・研究機関、他自治体、県などと連携して、組織を超えた関係者による事業の検討、研究、企画等を進めて、つくば市域における地球温暖化対策を誘導する。 また、地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の進捗管理を行う。					

コストの推移

項目			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
事業費	予算額	(千円)	0	162	279	241	241	
	決算額	(千円)	0	0	70	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	0	70	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	1,408	12,255	9,161	10,616	10,616	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.20	1.80	1.30	1.50	1.50
		正職員時間外勤務	(時間)	20.75	6.00	113.75	150.00	150.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	ホームページでの情報発信
企画・立案、計画	懇話会での意見交換
実行	ホームページでの情報発信、アンケート
評価、検証	温室効果ガス排出量推計報告書

指標の推移

1	指標名	新たな施策の検討 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	3.0	4.0	4.0	4.0	4.0
	実績	0.0	2.0	4.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	つくば市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）に掲載された施策の具体化を検討する。						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	社会状況に合わせた事業を展開するため、カーシェアリング事業者や宅配便事業者などの民間事業者を訪問して、社会課題や具体的な事業化の課題について協議を行った。	
成果	宅配ボックス設置事業費補助金やつくば市庁舎職員中駐車場内でのカーシェアリングステーション設置、サステナスクエア発電施設からの電力自己託送について検討を進めて、翌年度の事業化の目途を付けた。8月には外部懇話会で計画の進捗管理を行い、懇話会意見を環境管理委員会をとおして事業所管課にフィードバックした。2月には、市議会冒頭の市長所信表明で2050年度ゼロカーボンシティを宣言した。	
課題	業務	ゼロカーボンシティを目指すプロセスでは、市域の段階的な協力体制の構築が必要であり、連携を図りやすい大規模排出事業者である国立大学法人や国立研究開発法人等に働きかけが必要である。
	組織、予算等	ゼロカーボンシティを目指すためには、市民の先頭に立って公共施設が率先して脱炭素化を図る必要があり、同時に市域への働きかけが必要であることから、それに要する予算や人員、知見が不足している。
改善目標	連携のきっかけとして国立環境研究所や筑波大学など現状で脱炭素化への関心を共有できている機関と課題の共有等を図る。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	3	やや遅れたが、今年度の事業計画は達成された。
市の関与	3	民間活力や民間ノウハウを活用できる事業である。
優先度	-	法令等により市の実施が定められている。

方向性

方向性	継続
理由	-

令和 3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	626 筑波山自然環境教育事業						
予算科目	01-040107-12 環境教育に要する経費				担当部課	生活環境部環境政策課	
市長公約	67				係名	推進係	
戦略プラン	II-6	1	2	体験型の身近な環境教育事業		新規・継続	継続
	IV-4	4	1	持続可能な開発のための教育の推進		事業分類	自治事務（任意）
個別計画	第3次つくば市環境基本計画				事業体制	一部委託	
根拠法令等	特になし				SDGs	13気候変動に具体的な対策を	
						14海の豊かさを守ろう	
						15陸の豊かさを守ろう	
事業期間	毎年度						

事業の概要

対象	市民
目的	市内の身近な自然環境について学ぶ機会を提供し、豊かな自然環境の保全に対する意識の向上を図る。
概要 (取組内容)	筑波山の植物や水環境、山ろく部の自然環境及び市の中心部に残る森林等について知る機会や市内の豊かな自然を保全する意義を考える機会を提供するため、自然環境に関する観察会等を開催する。 ・筑波山自然環境教育事業の開催（5回）

コストの推移

項目		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
事業費	予算額	(千円) 0	2,149	1,747	1,422	1,422	
	決算額	(千円) 2,270	346	1,324	0	0	
	内訳	一般財源	(千円) 2,270	346	1,324	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円) 0	0	0	0	0
		その他	(千円) 0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円) 5,094	4,760	4,966	4,784	4,784	
	内訳	正職員従事割合	(人) 0.70	0.70	0.70	0.70	0.70
		正職員時間外勤務	(時間) 140.00	0.00	74.50	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-) 有	有	有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	ホームページ、メールマガジンでの情報発信
企画・立案、計画	特になし
実行	アンケートの実施
評価、検証	特になし

指標の推移

1	指標名	自然環境教育事業参加者数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	実績	114.0	41.0	82.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	(個別施策II-6-①身近な自然を楽しむ環境づくり) (個別施策IV-4-④低炭素化の推進) 自然環境教育事業への参加者数					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	市街地に隣接する平地林と、筑波山麓の谷津田と周辺の森をめぐる事業、桜川での稚魚放流事業を実施し、生物多様性及び水環境保全のための取り組みについて学ぶ機会を提供できた。
成果	令和3年度は、新型コロナウイルス感染症防止のため例年に比して少人数の参加者で実施した。3月に予定していたジオパーク室との連携事業は、新型コロナウイルス蔓延防止期間のため中止とした。 ・自然環境教育事業 第1回(4/18)参加者：20名、第2回(7/24)参加者：25名、第3回(9/23)参加者：17名、第4回(11/20)参加者：20名、第5回(中止)
課題	業務 筑波山周辺のみでなく、市内全体の自然環境について学ぶ機会を提供できるよう事業を企画する。また、他部署との連携事業としての実施も検討する。 組織、予算等 特になし
改善目標	筑波山周辺のみでなく、市内全体の自然環境について学ぶ機会を提供できるよう事業を企画する。また、他部署との連携事業としての実施も検討する。

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取り組む必要性が高い。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	627 つくば市環境マイスター育成事業						
予算科目	01-040107-12 環境教育に要する経費			担当部課	生活環境部環境政策課		
市長公約				係名	推進係		
戦略プラン	II-6	1	3	次世代の担い手育成事業		新規・継続	継続
						事業分類	自治事務（任意）
						事業体制	職員のみ
個別計画	第3次つくば市環境基本計画			事業期間	毎年度		
根拠法令等	特になし			SDGs	07エネルギーをみんなにそしてクリー		
					12つくる責任つかう責任		
					13気候変動に具体的な対策を		

事業の概要

対象	マイスター認定者、市民
目的	地域社会における環境活動のリーダー的役割を担う目的で育成した人材の活用を図る。
概要 (取組内容)	既存の環境マイスター認定者の活用事業としてマイスター認定者が市の環境事業（湧水マップ改定、生物多様性戦略策定）に関わることにより、マイスター認定者の活動の場を広げることで、環境活動のリーダー的役割を担う後押しをする。

コストの推移

項目			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
事業費	予算額	(千円)	15	81	170	95	95	
	決算額	(千円)	76	0	39	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	76	0	39	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	2,146	2,068	2,408	2,050	2,050	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.30	0.30	0.35	0.30	0.30
		正職員時間外勤務	(時間)	45.00	11.25	6.25	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	ホームページ、メールマガジンでの情報発信
企画・立案、計画	特になし
実行	特になし
評価、検証	特になし

指標の推移

1	指標名	1級認定者の延べ人数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	28.0	28.0	28.0	28.0	28.0	28.0
	実績	28.0	28.0	28.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	(個別施策II-6-①身近な自然を楽しむ環境づくり) 1級認定者数						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	つくば市環境マイスターの会と共催で筑波山自然環境教育事業「里山ウォーク」の開催、湧水マップ改定に係る現地調査、編集作業など活躍の場を提供した。	
成果	筑波山自然環境教育事業「里山ウォーク」を共催で開催（4/18、参加者20名）し、参加者の自然環境保全意識の向上が図れた。 また、マイスターの知見をいかし、湧水マップの改定に係る現地調査、編集作業を実施し、改定版を完成させることで活躍の場を提供できた。	
課題	業務	つくば環境マイスターの会及びつくば市が実施する事業について、今後も連携して実施できるよう検討し、より多くの活躍の場を提供できるようにする。
	組織、予算等	特になし
改善目標	つくば環境マイスターの会及びつくば市が実施する事業について、今後も連携して実施できるよう検討し、より多くの活躍の場を提供できるようにする。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	3	やや遅れたが、今年度の事業計画は達成された。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	628 つくば環境フェスティバル事業					
予算科目	01-040107-12 環境教育に要する経費			担当部課	生活環境部環境政策課	
市長公約				係名	推進係	
戦略プラン	II-6	1	4	誰もが自然を学べる場の提供	新規・継続	継続
	IV-4	4	1	持続可能な開発のための教育の推進	事業分類	自治事務（任意）
					事業体制	一部委託
個別計画	つくば市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）				事業期間	毎年度
根拠法令等	特になし				SDGs	04質の高い教育をみんなに
						12つくる責任つかう責任
						13気候変動に具体的な対策を

事業の概要

対象	市民、環境フェスティバル来場者
目的	子どもから大人までが参加可能な環境イベント等をとおして、事業者や市民の環境配慮活動の意識啓発を推進する。
概要 (取組内容)	市民団体、研究機関、行政等が公開する様々な環境に関する活動について、来場者に楽しみながら学ぶ機会をつくるため、フェスティバルの企画立案及び運営を実施する。

コストの推移

項目			令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	
事業費	予算額	(千円)	0	3,668	0	3,594	3,668	
	決算額	(千円)	3,340	0	0	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	3,340	0	0	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	2,041	2,040	0	2,050	2,050	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.25	0.30	0.00	0.30	0.30
		正職員時間外勤務	(時間)	140.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	有	無	無	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	ホームページ、メールマガジンでの情報発信
企画・立案、計画	特になし
実行	アンケートの実施
評価、検証	特になし

指標の推移

指標名	来場者数 (人)					成果指標	
	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度	
1	目標値	15,000.0	15,000.0	15,000.0	0.0	0.0	0.0
	実績	17,000.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	(個別施策II-6-①身近な自然を楽しむ環境づくり) (個別施策IV-4-④低炭素化の推進) つくばサイエンスコラボ(つくば環境フェスティバル)の来場者数						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	環境意識の向上を目指した啓発方法を検討するため予算の計上を見送った。	
成果	令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の先行きが不透明なこと、イベント開催ありきではなく、環境意識の向上を目指した啓発方法を検討するため予算の計上を見送った。	
課題	業務	子供から大人まで参加可能な環境イベントを開催し、市民や事業者の環境配慮活動の発表の場を提供し、環境意識啓発の推進を図る。
	組織、予算等	令和4年度の開催に向けて当初予算を計上した。
改善目標	子供から大人まで参加可能な環境イベントを開催し、市民や事業者の環境配慮活動の発表の場を提供し、環境意識啓発の推進を図る。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	2	計画から遅れている。(未達成)
市の関与	3	民間活力や民間ノウハウを活用できる事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	—